



シリーズ

赤ちゃんが
生まれて

えがったなあ



♥名前の由来は何ですか？

姉「心瑚」の「心」という一文字を大切に繋ぎ、家族や周りの人から沢山のぬくもりや愛情を感じて、暖かい心を持ちながら、健やかに大きく育てて欲しいという願いを込めて“暖心”にしました。

♥舟形町での育児はどうですか？

妊娠期から出産後も保健師さんとの関わりもあり、とても心強いです。

♥舟形町のいいところ・改善してほしいところは？

子育て支援センターみらいは、室内も広く、子どもが遊ぶ玩具も充実していて、休日などは利用させて頂いています。

また、夏になると河川敷に噴水があるので、子どもと一緒に楽しみたいです。

【お願い】「えがったなあ」に出てみませんか。

舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さん、その他「えがったなあ」に出てみたい方を募集します。

(連絡先) 舟形町議会事務局 ☎32-0030

今回は、舟形第3の

高橋 輝さん・瞳さんの

お子さんの心瑚ちゃん(3才)と、
暖心くん(2カ月)です。

皆さんよろしくお願ひします。

声

町独自の事業で 中学校給食も完全無償化

門脇 由美さん(舟形第3)

「明日(今日)の給食何かな？」と、献立表を覗き込む子供の姿をよく目にします。学校生活の中で、給食の時間を楽しみにしているのは、いつの時代も変わらないなと感じます。

今年度から、国の政策で小学校給食費完全無償化となります。舟形町では併せて、保育園完全給食化、中学校給食費完全無償化にするという、独自事業を行うそうので、子供を育てる家庭にとって負担軽減となり、とてもありがたいお話です。

給食は、集金されていた給食費と町の給食負担金を合わせて提供されています。児童人数は減少してても、物価高騰の影響もあり、材料費は年々増加する一方です。今後も費用が高んでいくとは思いますが、子供達が楽しみにしている、舟形町の「日本一のおいしい給食」を、これからも変わらず提供してもらいたいと願っています。

(議会より)

町の子どもたちが日本一おいしい給食を実感し、町の良さを感じながら成長してくれることを望みます。

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見やご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

編集後記

例年より少し早い桜の便りが舟形町にも届きました。

今年度がスタートし、ほほえみ保育園では93名の保育が始まり、舟形小学校ではピカピカの1年生19名、舟形中学校では34名の新1年生を迎え、少し緊張した面持ちで4月8日の入学式が終了しました。舟形町の宝である子ども達に心からお祝いを申し上げます。また新たに東北農林専門職大学の学生10名も舟形での生活が始まり、総勢31名が生活する街になりました。議会としても、今まで以上に町民と学生の交流が盛んになり、賑やかな町になることを期待いたします。

(荒澤 広光記)

発行責任者

議長 斎藤 好彦
議会広報常任委員会
委員長 叶内 昌樹
副委員長 荒澤 広光
委員 小国 浩文
委員 伊藤 欽一
委員 伊藤 廣好